

WEBによる回答をお願いします。（大阪府訪問看護ステーション協会 ホームページより）

調査用事業所番号

←調査用事業所番号は別紙「訪問看護実態調査へのご協力のお願ひ」の
左上部及び封筒の宛名シールに記載しています。（5桁の数字）

注意）☞マークは、前質問で選択した方のみへの追加設問項目となります。

WEBでは、☞マークの設問が表示された場合のみご回答いただけます。

I. 事業所及び法人に関すること

1. 事業所名、法人名、設立主体についてお答えください。

1) 法人名

2) 法人の種類について教えてください。

1. 医療法人(200床未満) 2. 医療法人(200床以上) 3. 営利法人(会社) 4. 社会福祉法人
5. 特定非営利活動法人(NPO) 6. 社団法人・財団法人(公益含) 7. 生活協同組合
8. 地方公共団体 9. その他

★説明★ 医療法人＝社会医療法人 特定医療法人含みます。 営利法人＝株式、有限、合同、合名、合資
上記項目に含まれないものは、その他へ。

3) 訪問看護ステーション名

ふりがな

4) 訪問看護ステーションの住所地（市区町村）と地域区分をお答えください。

①住所

〇〇市〇〇区までを記入。

②地域区分

(地域区分は手引き参照)

1. 三島 2. 豊能 3. 北河内 4. 中河内
5. 大阪市北 6. 大阪市西 7. 大阪市東 8. 大阪市南
9. 堺 10. 南河内 11. 泉南

5) 電話番号とFAX番号を教えてください。

TEL番号

FAX番号

6) 貴訪問看護ステーションの指定年を西暦でご回答ください。

指定年月日

西暦

年

7) 貴訪問看護ステーションの法人代表者の職種を教えてください。

※管理者ではなく、「法人代表者」の職種です。

1. 看護職 2. 医師 3. セラピスト(PT,OT,ST) 4. その他医療専門職
5. 介護専門職 6. 医療・介護専門職以外 7. わからない

8) 本調査票の記入者氏名と職位（問い合わせさせていただく場合がありますので正しく記入してください。）

氏名

職位

1. 管理者 2. 主任等 3. 統括責任者等
4. 事務員 5. 経営者 6. その他スタッフ等

2. 貴訪問看護ステーションの運営についてお答えください。

1) 同一敷地内の併設事業の種類を以下の中からお答えください。（複数回答可）

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 0. 併設事業はなし | 12. 療養通所介護 |
| 1. 居宅介護支援事業所 | 13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 2. 訪問介護 | 14. 福祉用具 |
| 3. 通所介護・通所リハ | 15. グループホーム |
| 4. 病院（200床以上） | 16. 有料老人ホーム |
| 5. 病院（200床未満） | 17. サービス付高齢者向け住宅 |
| 6. 診療所 | 18. その他高齢者向け住宅 |
| 7. 介護医療院・介護療養型医療施設 | 19. 放課後等デイサービス |
| 8. 特別養護老人ホーム | 20. 就労継続支援事業所 |
| 9. 老人保健施設 | 21. 相談支援事業所 |
| 10. 看護小規模多機能 | 22. その他 <input type="text"/> |
| 11. 小規模多機能 | |

2) 休業日や夜間・早朝等の訪問について教えてください。 ★注意★ 指定機関への届出（運営規定）に基づきお答えください。

休業日（営業日以外の日）や夜間・早朝に、計画的な訪問（※）を実施していますか。

※ 計画的な訪問とは、緊急訪問以外の訪問を指します。

1. 要望があれば（概ね）計画的に訪問をしている
2. 必要時のみ選択し計画的に訪問をしている
3. 休業日（営業日以外）は計画的訪問をしていない

3) 貴事業所における加算（等）の届出状況を教えてください。

(1) 24時間対応体制加算（医療保険）

1. 有 イ（6,800円） 2. 有 ロ（6,520円） 3. 無

(1)

(2) 緊急時訪問看護加算（介護保険）

1. 有 I（600単位） 2. 有 II（574単位） 3. 無

(2)

(3) 機能強化型訪問看護管理療養費（医療保険）

1. 機能強化型1 2. 機能強化型2 3. 機能強化型3 4. 機能強化型4
5. 算定要件は満たしているが届出していない 6. 届出なし

(3)

(4) 看護体制強化加算（介護保険）

1. 看護体制強化加算 I 2. 看護体制強化加算 II
3. 算定要件は満たしているが届出していない 4. 届出なし

(4)

(5) サービス提供体制強化加算（介護保険）

1. サービス提供体制強化加算 I 2. サービス提供体制強化加算 II
3. 算定要件は満たしているが届出していない 4. 届出なし

(5)

4) 貴事業所における訪問看護管理療養費2日目以降に関する算定状況を教えてください。

1. 単一建物利用者20人未満 2. 単一建物利用者20人以上50人未満 3. 単一建物利用者50人以上

5) 包括型訪問看護療養費の届出状況を教えてください。

1. 届出している 2. 届出していない

6) 貴事業所における精神訪問看護に関する届出状況を教えてください。

(1) 精神訪問看護の療養費算定の届出（医療保険）

1. 届出している 2. 届出していない

(1)

(2) 精神科重症患者支援管理連携加算の届出（医療保険）

1. 届出している 2. 届出していない

(2)

(3) 精神科複数回訪問加算の届出（医療保険）

1. 届出している 2. 届出していない

(3)

7) 訪問看護ベースアップ評価料を算定しましたか。

1. 算定した 2. 算定していない

8) 貴事業所の経営状態(※)で当てはまると思うものを以下から一つお選びください。

※直近の1年間又は、直近の決算の状況から勘案しお答えください。

1. 黒字 2. 赤字 3. わからない

9) 今後(※)の事業規模の拡大・維持・縮小の意向について教えてください。

(1) 今後(※)の事業規模の拡大・維持・縮小の意向について以下から一つお選びください。

※今後とは、2～3年をイメージしてお答えください。

1. 規模拡大する予定 2. 現状維持 3. 縮小の予定 4. わからない

☞ (2) 上記9) - (1) の設問で、「1. 規模拡大する予定」と回答した事業所にお聞きします。

規模拡大する理由は何ですか。(複数回答可)

1. 経営の安定化 2. 働きやすい環境作り(産休育休対応など)
3. 利用者の増加 4. 近隣事業所の閉鎖による統合
5. 設置主体の意向(規模拡大を望んでいる) 6. その他

☞ (3) 上記9) - (1) の設問で、「2. 現状維持」「3. 縮小の予定」「4. わからない」と回答した事業所にお聞きします。規模拡大への課題は何ですか。

1. 職員の確保(が難しい) 2. 利用者獲得(が難しい)
3. 設置主体の意向(規模拡大を望んでいない) 4. その他

(4) 訪問看護ステーションの規模拡大に大阪府の補助事業がありますが、ご存知ですか。

※補助事業については、大阪府訪問看護ステーション協会のホームページでご案内しています。⇒

1. 知っており活用した 2. 知っているが活用していない 3. 知らない



協会HP

☞ (5) 上記9) - (4) の設問で、「2. 知っているが活用していない」と回答した方にお聞きします。

その理由を教えてください。(複数回答可)

1. 制度がよくわからない 2. 書類作成に手間がかかる
3. 補助金額が少ない 4. 補助条件が合わない
7. その他

☞ (6) 上記9) - (5) の設問で、「4. 補助条件が合わない」と回答した方にお聞きします。

その内容を教えてください。(自由記載)

3. 管理者についてお答えください。

1) 経過年数について

	病院・施設等	訪問看護ステーション	合計
(1) 看護師の経過年数	① 年	② 年	③ 年
(2) 管理者の経過年数	④ 年	⑤ 年	⑥ 年

※年単位で、切り上げてお答えください。(例: 1年3ヶ月→2年)

2) 訪問看護管理者研修の受講について

(1) 管理者研修を受講しましたか。

1. 受講した 2. 受講していない

☞ (2) 上記2) - (1) の設問で「2. 受講していない」と回答した方にお聞きします。

受講していない理由を以下から選んでください。(2つまで)

1. 忙しく時間がとれない 2. 必要性を感じない
3. 受講したいが日時が合わない 4. 受講したい研修がない
5. 上司の許可が得にくい 6. 研修の開催案内情報がない
7. オンライン通信環境がない 8. オンライン通信受講に自信がない
9. 制度上、管理者研修受講義務が無い 10. その他

3) 看護協会等主催による認定看護管理者カリキュラムを受講した看護師が在籍していますか。

1. いる 2. いない

II. 職員に関すること、利用者や訪問回数に関すること

1. 2026年7月1日現在の貴事業所（サテライト含む）における
従事者の 「在籍人数（延べ人数）」と「常勤換算数」を教えてください。

※常勤換算数は小数点第一位までを記入。小数点第2位を四捨五入してください。
※対象者なしの場合は「0」を記入してください。（未入力不可）

	在籍あり	在籍人数 (延べ数)		常勤換算数 (※)
		常勤	非常勤	常勤+非常勤
記入例)保健師・助産師・看護師	☒	7人 (実人数)	2人 (実人数)	8.0人 (小数点一位まで)
(1) 保健師・助産師・看護師	—	①	②	③
(2) 准看護師	☒	④	⑤	⑥
(3) 理学療法士	☐	⑦	⑧	⑨
(4) 作業療法士	☐	⑩	⑪	⑫
(5) 言語聴覚士	☐	⑬	⑭	⑮
(6) 事務職員	☐	⑯	⑰	⑱

2. 現在、看護職の求人を行っていますか。

1. 求人を行っている 2. 求人を行っていない

3. 看護職の採用についてお答えください。

1) 貴事業所で、2025年4月～2026年3月末の期間で、採用した人数を教えてください。

※採用者なしの場合は「0」を記入してください。（未入力不可）

人

4. 看護職の派遣の利用についてお答えください。

1) 現在、看護師の派遣の利用を行っていますか。

1. 利用している 2. 利用していない

5. 看護職の離職についてお答えください。

1) 貴事業所で、2025年4月～2026年3月末の期間で、離職した看護職はいましたか。

1. いた 2. いなかった

☞ 2) 上記1) の設問で「いた」と回答した方にお聞きします。

(1) 離職人数（2025年4月～2026年3月末）を教えてください。

人

(2) 離職後の状況を教えてください。（複数回答可）

1. 病院へ就職 2. 他の訪問看護事業所へ転職 3. 他の施設（福祉施設など）に就職
4. 結婚・出産・介護などで退職（看護師としては働かない）
5. 看護師以外の仕事に就職 6. 不明

(3) 離職理由は何ですか。（複数回答可）

1. やりがいが無い 2. 体力的に無理だと感じた 3. 一人訪問が不安
4. 家庭の事情 5. 事業所内の人間関係 6. 給与
7. 独立・新規開業 8. 体調不良・病気 9. 定年退職 10. 契約満了
11. 不明 12. その他

6. 2026年7月度（1か月間）の利用者人数について教えてください。

	利用者数			利用者数
1) 総利用者数 (※1)		人	※1 必須回答です。0人の場合は「0」を記入してください。	
2) ①介護保険（予防含）利用者数 (※1) (※2)		人	3) 医療保険等のうち、精神訪問看護指 示書の交付がある利用者数	人
②医療保険等利用者数 (※1) (※2) (※3)		人	4) 総利用者のうち、PT/OT/STが訪問 している利用者数（看護との併用含）	人

※2 特別指示書交付等による介護保険、医療保険等の両保険利用時は、両方に人数を計上

※3 医療保険等には、介護保険、自費以外の全てを含めてください。〔自立支援、生活保護（医療）など〕

7. 訪問看護回数について

1) 2026年7月度の介護保険、医療保険のそれぞれの区分の訪問回数や人数を教えてください。※0回の場合は「0」を記入のこと

(1) 介護保険 (介護予防含む)		(2) 医療保険等	
訪看 I 1 (20分)	回	訪問看護基本療養費 ※リハビリも含む	回
訪看 I 2 (30分未満)	回	精神科訪問看護基本療養費	回
訪看 I 3 (30～60分未満)	回	24時間対応体制加算	人
訪看 I 4 (60～90分未満)	回	乳幼児加算	人
訪看 I 5 (PT等)	回	精神科重症患者支援管理連携加算	人
訪看 I 5・2超 (PT等)	回	ターミナルケア療養費1	人
緊急時訪問看護加算	人	ターミナルケア療養費2	人
ターミナルケア加算	人	退院支援指導加算 (長時間含む)	人
特別管理加算 I (500単位)	人	緊急訪問看護加算 15日目以降の算定	人
特別管理加算 II (250単位)	人	特別管理加算 (5000円)	人
口腔連携強化加算	人	特別管理加算 (2500円)	人
		訪問看護医療DX情報活用加算	人
		訪問看護医療情報連携加算	人

8. 小児訪問看護について

1) 小児への訪問看護を実施していますか。

1. 実施している 2. 実施していない 3. 実施したいが利用者がいない

☞ 2) 上記1) の設問で「1. 実施している」と回答した方にお聞きます。

利用者の内訳人数を教えてください。(支援内容が重複する場合はどちらにも入れて延べ人数でお答えください。)

1. 医療的ケア管理を実施している利用者

人

2. 発達障害への支援をしている利用者

人

3. その他の支援で訪問している利用者

人

☞☞ 3) 上記2) の設問で「2. 発達障害への支援をしている利用者」がいる方にお聞きます。

発達障害への支援の内容について、選択してください。(複数回答可)

1. 看護師による服薬管理・生活リズム・関係性構築・精神的支援

2. PTによる歩行や姿勢、身体機能の向上を遊びや運動を通じて支援

3. OTによる食具や文具の使い方、服の着脱など日常生活動作の習得支援など

4. STによる発話や嚥下の訓練、コミュニケーション能力の向上

5. 家族への支援

6. 地域活動や趣味、仕事など社会とのつながりを持つ支援

7. その他

☞☞ 4) 上記2) の設問で「3. その他の支援で訪問している利用者」がいる方にお聞きます。

支援の内容を教えてください。(自由記載)

Ⅲ. 質維持・向上に関すること

1. 運営の点検についてお答えください。

1) 貴事業所では、毎年「自主点検表」（大阪府等）を用いて運営の点検を行っていますか。

1. 行っている 2. 行っていない

2. 看護の質についてお答えください。

1) 貴事業所では、質評価を行っていますか。

1. 行っている 2. 行っていない

☞ 2) 上記1) の設問で「1.行っている」と回答した方にお聞きます。

貴事業所での質評価の方法を教えてください。（複数回答可）

1. 「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン」（全国訪問看護事業協会）を使用
2. 「訪問看護サービス質評価のためのガイド」（日本訪問看護財団）を使用
3. 第三者評価を受けている
4. 事業所独自で評価指標を作成している
5. 利用者アンケートの実施
6. その他

3) <貴事業所の看護管理者の方にお聞きます>

以下の1～10の設問について、貴事業所の状況として、もっとも当てはまる数字を一つお選びください。

（0 = 全くできていない、1 = できていない、2 = どちらかといえばできていない、3 = どちらかといえばできている、4 = できている、5 = よくできている）

		全くできて いない	できてい ない	どちらかと いえば できていな い	どちらかと いえば できている	できて いる	よく できて いる
(1)	組織を運営するための理念を明示し、職員に徹底している	0	1	2	3	4	5
(2)	訪問看護事業に関係する法律や制度の情報を把握している	0	1	2	3	4	5
(3)	事故発生時等の対処方法を定め、適切に対処している	0	1	2	3	4	5
(4)	パソコンやタブレットなどを活用した情報管理システムを導入し、効率化を図っている	0	1	2	3	4	5
(5)	スーパービジョン、同行訪問、カンファレンス等を通じて、提供される看護の質を継続的に把握・支援している	0	1	2	3	4	5
(6)	地域の訪問看護ステーションや地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所と連携している	0	1	2	3	4	5
(7)	キャリアラダーや訪問看護師において必要な行動指標を用いた人材育成に取り組んでいる	0	1	2	3	4	5
(8)	ステーション内でチームケアを実践し、アセスメントに基づく訪問回数の決定や、利用者の状態に応じた訪問看護計画の立案・評価を行っている	0	1	2	3	4	5
(9)	訪問看護関連団体、職能団体や地域活動に積極的に参加している	0	1	2	3	4	5
(10)	所属するスタッフが外部研修に参加するための支援を行っている	0	1	2	3	4	5

IV. 専門性の高い訪問看護に関すること

1. 専門性の高い訪問看護の2025年4月1日～2026年3月31日の実施状況についてお答えください。

1) 専門管理加算を算定されましたか。

1. 算定した 2. 算定していない

☞ 2) 上記1) の設問で「1. 算定した」と回答した方にお聞きます。その内容を教えてください。（複数回答可）

1. 緩和ケアに係る専門の研修を受けた看護師
2. 褥瘡ケア若しくは人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師
3. 「特定行為研修」を修了した看護師

3) 特定行為を実施している事業所にお聞きます。

* 大阪府医師会は2025年3月「特定行為に係る地域標準手順書（大阪府医師会版）」を作成しています。

(1) 医師から発行される「特定行為手順書」の交付を受けましたか。（期間：2025年4月1日～2026年3月31日）

1. 受けた 2. 受けていない

☞ (2) 上記3) — (1) の設問で「1. 受けた」特定行為を実施している事業所にお聞きます。

交付を受けて実施した特定行為の件数についてお答えください。 ※0件の場合は「0」を記入してください。

1. 気管カニューレの交換
2. 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
3. 膀胱ろうカテーテルの交換
4. 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
5. 創傷に対する陰圧閉鎖療法
6. 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
7. 脱水症状に対する輸液による補正
8. その他（上記以外）

件

件

件

件

件

件

件

件

2. 特定行為研修受講者についてお答えください。

※特定行為研修受講者とは、厚生労働大臣が指定する指定機関の研修を受講し、修了証が交付された方を指します。

1) 特定行為研修受講者についてお聞きます。

(1) 貴事業所の職員で、特定行為研修の受講を終えた人員数と今年度（2026年度）の受講（予定）者数を教えてください。

※0人の場合は「0」を記入してください。

受講を終えた人員数

2026年度の受講（予定）者数

人

人

(2) 貴事業所の職員で、2027年度以降の特定行為研修の受講の予定を教えてください。

1. ある 2. ない

☞ (3) 上記1) — (2) の設問で「2. ない」と回答した方にお聞きます。

受講していない（予定がない）理由を以下から選択してください。（4つまで）

1. 特定行為研修を知らない 2. 受講の必要性を感じない
3. 研修に出す経済的余裕がない 4. 研修に出す人力的余裕がない
5. 組織の許可が得られない 6. 研修の開催案内情報がない
7. 指定研修機関に通えない 8. 希望者がいない
9. その他

2) 特定行為研修に関する大阪府の補助事業（特定行為研修等の代替職員確保支援事業）についてお聞きます。

(1) 特定行為研修に関する大阪府の補助事業（特定行為研修等の代替職員確保支援事業）は、ご存知ですか。

1. 知っており活用した（する予定） 2. 知っているが活用していない 3. 知らない

☞ (2) 上記2) — (1) の設問で「2. 知っているが活用していない」と回答した方にお聞きます。

その理由を教えてください。（複数回答可）

1. 制度がよくわからない 2. 書類作成に手間がかかる 3. 補助金額が少ない
4. 補助条件が厳しい 5. 受講予定がない 6. 対象者がいない
7. その他

V. 災害に関すること

1. 事業継続計画（BCP）の策定後の状況についてお答えください。

1) B C Pの見直し状況について教えてください。

1. 毎年見直している 2. 策定後見直していない
3. まだ策定していない 4. その他

2) 過去1年間にB C P訓練を実施しましたか。

1. 実施した 2. 実施していない

☞ 3) 上記2) の設問で「1. 実施した」と回答した方にお聞きます。

B C P訓練の内容を具体的に教えてください。（複数回答可）

1. 安否確認訓練 2. 非常用物品・備蓄確認訓練
3. 通信手段の確認訓練 4. 業務継続シミュレーション訓練
5. 感染症発生時訓練 6. 地域との連携訓練
7. B C P見直し訓練 8. その他

4) B C P策定において難しいと感じていることは何ですか。（複数回答可）

1. 忙しくて時間がとれない 2. 策定の参考となるものがない
3. 策定に必要なノウハウ・スキルがない 4. BCPに対する現場の意識が低い
5. リーダーとなる人がいない 6. 特に難しさは感じていない
7. その他

5) 実効性のあるBCPを策定するにあたって必要と思われることは何ですか。（複数回答可）

1. 作成しやすい様式があること 2. 策定に必要な情報の提供
3. 研修会の開催 4. 相談できる窓口
5. 指導を受けることができる体制 6. 事務所間で情報交換ができること
7. その他

2. 近隣他施設とのBCP策定に向けた取り組みについて

1) 近隣他施設とともにBCP策定に向けた取り組みを行っていますか。

1. 取り組んでいる 2. 取り組んでいない

☞ 2) 上記1) の設問で「1. 取り組んでいる」と回答した方にお聞きます。

その取り組み内容を教えてください。（複数回答可）

1. 訪問看護ステーション連携型 B C P
2. 他施設連携型 B C P（行政を除く）
3. 他施設連携型 B C P（行政を含む）
4. その他

3. 設置ステーションについて

1) 災害時に備え、設置ステーションに簡易発電機等を整備し、在宅患者の自助行為を促進していることを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

2) 設置ステーションにて簡易発電機の使用方法的研修を受けたことがありますか。

1. 受けたことがある 2. 受けたことがない

☞ 3) 上記2) の設問で「1. 受けたことがある」と回答した方にお聞きます。

貴事業所の人工呼吸器装着患者で、設置ステーションへ利用者登録されている方はいますか。

1. いる 2. いない

4) 人工呼吸器装着中の利用者に対し、個別避難計画は策定されていますか。

※個別避難計画は、自事業所作成でなく、行政作成の計画でも良いです。

1. 全員作成されている 2. 概ね作成されている
3. ほとんど作成されていない 4. 人工呼吸器装着者がいない

Ⅵ. アドバンス・ケア・プランニング（ACP：人生会議※）に関すること

1. 現在のACPの状況についてお聞かせください。

※定義（厚生労働省）：人生の最終段階において、本人の意思が尊重され、本人が希望する「生を全う」できるような年齢を問わず健康な時から、人生の最終段階における医療・ケアについて考える機会を持ち、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合うこと

1) 貴事業所で、ACPの研修を受講したことがあるスタッフはいますか。

1. いる 2. いない

--

2) 貴事業所では、ACPを積極的に実施していますか。

1. 積極的に実施している 2. 実施している 3. あまり実施していない 4. 実施していない

--

☞ 3) 上記2) の設問で「1～3（実施）」と回答した方にお聞きます。

(1) どのタイミングで実施していますか。（複数回答可）

1. 訪問看護が始まったとき（契約時や訪問初期）
2. 病状の進行や衰弱傾向を認めるとき
3. 本人や家族から人生会議について相談があったとき
4. 医師より回復の見込みがないと診断されたとき（終末期）
5. 要介護認定更新やケア内容の変更時
6. 日常の訪問の際（特にタイミングはない）
7. 月1回程度、実施している
8. その他

--	--	--

(2) 実施時に、資料等を使用していますか。（複数回答可）

1. 大阪府が作成している資料
2. 大阪府以外の自治体が作成している資料
3. 大阪府看護協会が作成している資料
4. 自事業所で作成している資料
5. 利用者が持っている資料
6. 資料は使用していない（口頭のみ）
7. その他

--	--	--

(3) 実施した内容の多職種間での共有方法はどれですか。（複数回答可）

1. カルテを通して情報共有をしている
2. 対面による担当者同士の情報共有を密にしている
3. ICT活用による担当者同士の情報共有を密にしている
4. カンファレンスや事例検討会を、定期的に開催している
5. 利用者宅においている連絡ノートで情報共有をしている
6. 特に共有していない
7. その他

☞ 4) 上記2) の設問で「4. 実施していない」と回答した方にお聞きます。

その理由で最も当てはまるものを教えてください。

1. 対象となる利用者がいない 2. 実施できる訪問看護師がいない
3. 実施する時間がない 4. 実施する必要性を感じない
5. その他

--

5) ACPを推進する際に困難に感じることを教えてください。（複数回答可）

1. 特に困難と感じていない 2. ACPをする時間が確保できない
3. ACPの実践方法がわからない 4. 利用者がACPの実施を嫌がる
5. 多職種間の情報共有がしづらい 6. 医療機関との情報が共有しづらい
7. 実施するタイミングが難しい 8. その他

--	--	--

Ⅶ. 看護職員等への暴力・ハラスメント被害に関すること

注) ここでは、訪問看護師等が利用者等から受けることに限定します。

* 大阪府では、介護・看護職員等が安心して働ける労働環境を築くことができるよう、カスタマーハラスメントに係るチラシを作成し、2025年度に「暴力・ハラスメント相談窓口」が設置されました。詳細については、大阪府ホームページをご参照ください。

1. 被害を受けた経験について

1) 2025年4月1日～2026年3月31日で、利用者やご家族からの暴力・ハラスメント被害を受けた経験はありますか。

1. 経験あり 2. 経験なし

☞ 2) 上記1) の設問で「1. 経験あり」と回答した方にお聞きます。

(1) どのようなハラスメントがありましたか。(複数回答可)

1. 威圧的な言動
2. 精神的な攻撃(脅迫・中傷・名誉棄損・侮辱・暴言)
3. 性的な言動
4. 継続的な(繰り返される)、執拗な(しつこい)言動
5. 身体的な攻撃(暴行・傷害)
6. 個人への攻撃や嫌がらせ
7. 差別的な言動
8. 土下座の要求
9. 拘束的な行動(不退去・居座り・監禁)
10. SNSを通じた誹謗中傷

--	--	--

(2) 貴事業所では、どのように対応しましたか。(複数回答可)

1. スタッフのケアの方法を見直すなど所内で相談しながら進めた
2. 二人訪問で対応した
3. 男性看護師による訪問とした
4. 他職種と訪問を同行した
5. 管理者が訪問を担当した
6. 管理者等より利用者に注意を促した
7. 訪問を中断した(断った)
8. (対応可能な)他の訪問看護ステーションに引き継いだ
9. 主治医に相談した
10. 地域包括支援センターに相談した
11. 担当者会議や地域ケア会議で相談しながら進めた
12. 大阪府のカスタマーハラスメント相談窓口相談した
13. 大阪府以外の自治体・警察・弁護士に相談した
14. 看護職能団体に相談した
15. 防犯ベルを持たせた

2. ハラスメントの対応として、二人訪問についてお聞きます。

1) 現在、二人訪問で対応したい利用者は何人いますか。

※0人の場合は「0」を記入してください。

 人

2) これまでに、二人訪問で対応した経験はありますか。

1. 経験あり 2. 経験なし

☞ 3) 上記2) の設問で「1. 経験あり」と回答した方にお聞きます。

(1) 訪問者と一緒に複数名で訪問した職種をお答えください。(複数回答可)

1. 事業所管理者 2. 男性職員(看護師以外)
3. ケアマネジャーなど関係機関の担当者 4. その他

--	--

(2) 二人訪問対応について、複数名訪問看護加算の算定はしましたか。

1. 算定した 2. 算定しなかった(できなかった)

☞ 4) 上記3) - (2) の設問で「2. 算定しなかった(できなかった)」と回答した方にお聞きます。

算定しなかった(できなかった)理由を教えてください。

1. 主治医の指示がなかったため
2. 主治医の指示はあったが利用者負担が増えるため事業所判断で算定しなかった
3. 主治医の指示はあったが利用者の同意が得られなかったため算定できなかった
4. その他

3. 暴力・ハラスメント被害への対策について

1) 大阪府のカスタマーハラスメント対策事業についてお聞きます。

(1) 介護事業所及び施設に従事する職員及び管理者向けの相談窓口は、ご存じですか。

1. 知っており活用した 2. 知っているが活用していない 3. 知らない

(2) 2026年7月から同意を得られない利用者（介護報酬対象者）への複数名訪問支援事業が始まりました。

この事業について、診療報酬対象者への拡大を希望しますか。

1. 希望する 2. 希望しない

2) 自事業所の対策についてお聞きます。

(1) 現在までに「暴力・ハラスメント」に関する研修を受講しましたか。

1. 受講した 2. 受講していない

(2) 事業所内で「暴力・ハラスメント」に関するマニュアルがありますか。

1. マニュアルあり 2. マニュアルなし

VIII. 医療安全に関すること

※インシデント（ヒヤリ・ハット）とは、訪問看護の過程において、エラーが発生したか、あるいは発生しかけたが、患者や職員に障害を及ぼすことなく、医療事故には至らなかったものを指します。（患者影響レベル0～3a）

※アクシデント（医療事故）とは、医療に関わる場所で、訪問看護の過程において、不適切な医療行為が、結果として患者や職員に意図しない傷害を生じ、その経過が一定程度以上の影響を与えた事象を指します。（患者影響レベル3b～5）
[患者影響レベル]

- ・レベル0 間違ったことが実施される前に気づいた場合
- ・レベル1 間違ったことが実施されたが、患者には影響が無かった場合
- ・レベル2 処置や治療は行わなかったが、バイタルサインの経度変化や観察強化、安全確認のための検査等の必要性が生じた場合
- ・レベル3a 簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤投与など）
- ・レベル3b 濃厚な処置や治療を要した（人工呼吸器装着、手術、入院、骨折など）
- ・レベル4 永続的な障害や後遺症が残った
- ・レベル5 事故が原因による死亡

1. インシデント（ヒヤリ・ハット）・医療事故（アクシデント）事例についてお答えください。

1) 貴事業所では、2026年7月度のインシデント・アクシデントはありましたか。

1. あり 2. なし

☞ 2) 上記1) の設問で「1. あり」と回答した方にお聞きます。報告事例の件数を教えてください。

※0件の場合は「0」を記入してください。

- 1. ケアに係る事項
- 2. 個人情報の漏洩に関する事項
- 3. 利用者宅での器物破損等に関する事項
- 4. 移動中の交通事故
- 5. 訪問スケジュールに関する事項（訪問忘れ・時間間違い）
- 6. 事務的作業ミス（利用料請求ミス等）
- 7. その他

インシデント事例 アクシデント事例

	件		件
	件		件
	件		件
	件		件
	件		件
	件		件
	件		件

☞ 3) 上記2) の設問で「1. ケアに係る事項」と回答した方にお聞きます。報告事例の件数を教えてください。

※0件の場合は「0」を記入してください。

- 1. 薬液・投与方法の間違い
- 2. カテーテルトラブル（膀胱留置カテーテル・EDチューブなど）
- 3. 浣腸・排便時の出血
- 4. 医療機器の取り扱いミス（人工呼吸器・輸液ポンプなど）
- 5. 内服薬のセット間違い
- 6. 寝衣などの汚染
- 7. 入浴介助、ケア中の転倒
- 8. ケア中の骨折、負傷
- 9. 食事介助中の誤嚥
- 10. 爪切り時の出血
- 11. その他

インシデント事例 アクシデント事例

	件		件
	件		件
	件		件
	件		件
	件		件
	件		件
	件		件
	件		件
	件		件
	件		件
	件		件

4) 貴事業所では、インシデント・アクシデント報告事例について再発予防のための検討を実施していますか。

1. 実施している 2. 実施していない

☞ 5) 上記4) の設問で「1. 実施している」と回答した方にお聞きます。

(1) 事例検討の実施状況を教えてください。

1. 全報告を実施している
2. アクシデント報告のみ実施している
3. 重要な案件のみ実施している

(2) 事例検討を開催する頻度を教えてください。

1. 1回/1月程度 2. 3回程度/年 3. 2回程度/年 4. 1回程度/年

6) 貴事業所では、医療安全についての研修を実施していますか。

1. 実施している 2. 実施していない

☞ 7) 上記6) の設問で「1. 実施している」と回答した方にお聞きます。

医療安全の研修方法を教えてください。(複数回答可)

1. 日本訪問看護財団の教材を活用
2. 全国訪問看護事業協会のオンデマンド研修
3. サブスクやeラーニングの教材
4. 各種団体による集合研修
5. 独自で研修実施
6. その他

IX. 新卒看護師の採用に関すること

※本調査では、新卒看護師は「看護師養成学校卒業から1年以内の訪問看護経験のない看護師」のことを指します。

1. 貴事業所における新卒看護師の採用についてお答えください。

1) これまでに新卒看護師を採用したことがありますか。

1. 採用したことがある 2. 採用したことがない

☞ 2) 上記1) の設問で「1. 採用したことがある」と回答した方にお聞きます。

これまでに採用した新卒看護師の人数を教えてください。

人

3) 新卒訪問看護師の今後の採用予定を教えてください。

1. 次年度採用予定がある 2. 希望があれば採用したい 3. 今後も採用予定はない

☞ 4) 上記3) の設問で「3. 採用予定はない」と回答した方へお聞きます。

採用しない理由を教えてください。(複数回答可)

1. 自事業所での教育体制が整っていないため
2. 経営が安定していないため
3. 新卒の看護師では、訪問看護は難しいと考えるため
4. その他

5) 大阪府訪問看護ステーション協会の新卒訪問看護師育成プログラムをご存知ですか。

1. 知っている 2. 知らない

質問は以上です ご協力誠にありがとうございます。

引き続き、意向調査回答へのご協力をお願いいたします。(設問数は2問です)